



2017年10月期

# 決算説明補足資料

東証JASDAQ  
証券コード3974

株式会社 ティビィシー・スキヤット

## 当社の使命

ICT技術の提供による、中小企業への経営支援を通じた社会貢献

## 会社概要

名 称	株式会社ティビィシィ・スキヤット	
設 立	1969年12月	(上場日：2016年12月27日)
代 表 者	代表取締役社長 安田 茂幸	
事 業	美容サロン向けICT事業、中小企業向けビジネスサービス事業 介護サービス事業	
資 本 金	2億円	
従業員数	197名 (2017年10月31日現在)	
所 在 地	小山本社：栃木県小山市城東一丁目6番33号 東京本社：東京都中央区日本橋本町三丁目8番4号 ユニゾ日本橋本町三丁目ビル	
国内拠点	札幌・仙台・宇都宮・東京・名古屋・大阪・広島・福岡	
市 場	東京証券取引所JASDAQ (証券コード：3974)	



## 沿革（3つの事業）

### ■ 中小企業向け ビジネスサービス事業

栃木県を中心とした中小企業向けに会計サービス他の経営支援事業を展開

### ■ 美容サロン向け ICT事業

美容業界に特化したICTサービスを全国展開

### ■ 介護サービス事業

栃木県、群馬県、長野県の3カ所で介護付き有料老人ホームを運営

#### (株)ティビィシィ

Total Business Consulting

1969年 創業  
1977年 3社が合併  
業歴：約50年

#### スキヤット(株)

Strategic Computer Application  
Technology

1981年 設立  
業歴：36年以上

#### TBCシルバーサービス(株)

2004年 設立

#### (株)ティビィシィ・スキヤット

2006年 子会社化  
2012年 完全子会社化  
当社グループに入り  
約10年

**2017年10月期 決算ハイライト**  
**2018年10月期 業績見通し**

## 2017年10月期決算ポイント

### 戦略的アライアンスで、 次の成長ステージへの基盤作り

- 美容サロン向けICT事業は、消費低迷による買替えサイクルの様子見の影響などにより上半期の苦戦はあったものの下半期には回復。
- 新規受注は、戦略的アライアンスの推進により好調に推移。
- 「サロンアプリ」などWEBコンテンツサービス、システム保守サービスなどのストック型課金ビジネスは計画通り伸びており、収益性が高まってきた。
- 中小企業向けビジネスサービス事業は、不採算事業からの撤退により損益が改善した（利益確保）。
- 介護サービス事業は、職場環境改善・処遇改善等の地道な努力（凡事徹底）から有料老人ホームの入居率95%前後を確保。
- 安定した収益確保から次へのチャレンジ（横展開）の実行。

(単位：百万円または%)

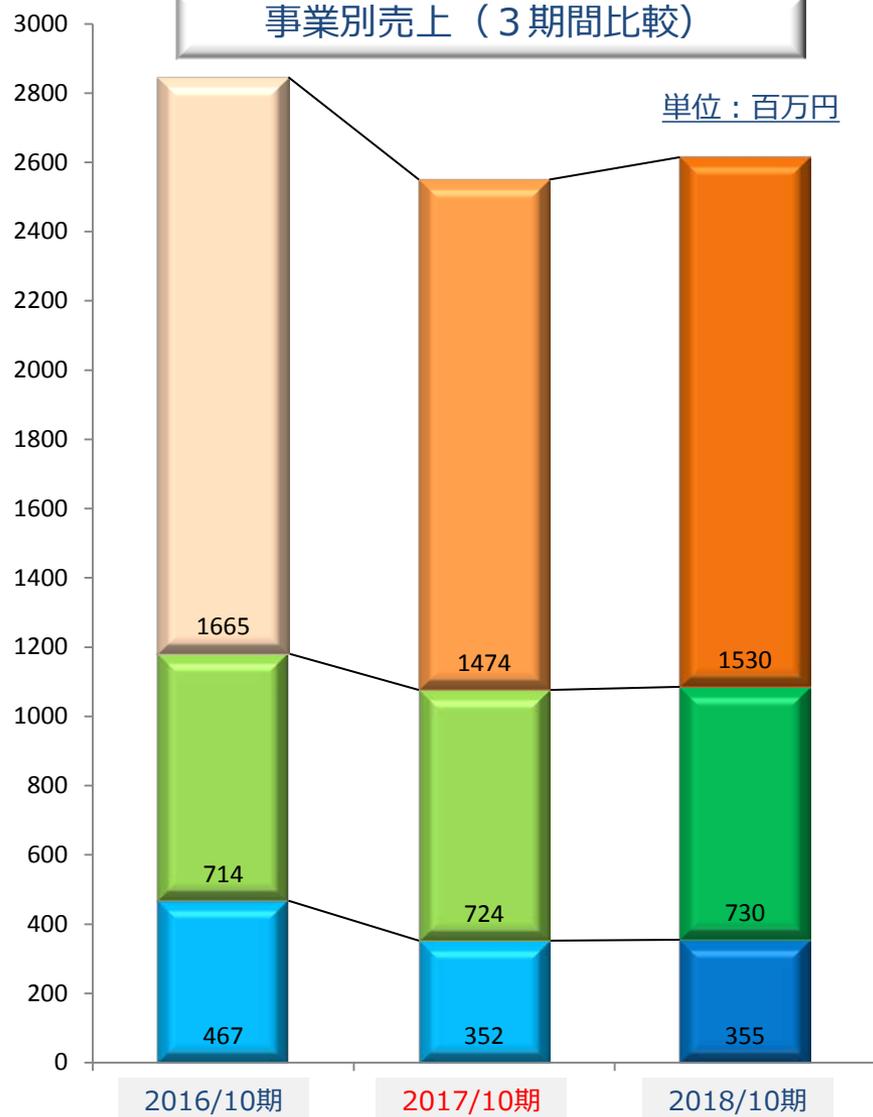
《2Q比較》	2016年10期	2017年10期		2018年10期	
		2Q	前期比	2Q	前期比
売上高	1,488	1,250	84.0% (△237)	1,297	103.8% (+ 47)
営業利益 (営業利益率)	97 (6.6%)	38 (3.1%)	39.5% (△ 59)	64 (5.0%)	167.7% (+ 26)
経常利益 (経常利益率)	118 (8.0%)	20 (1.6%)	17.0% (△ 98)	64 (4.9%)	317.9% (+ 44)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	69	18 (1.5%)	26.7% (△ 51)	39 (3.0%)	211.9% (+ 21)

(単位：百万円または%)

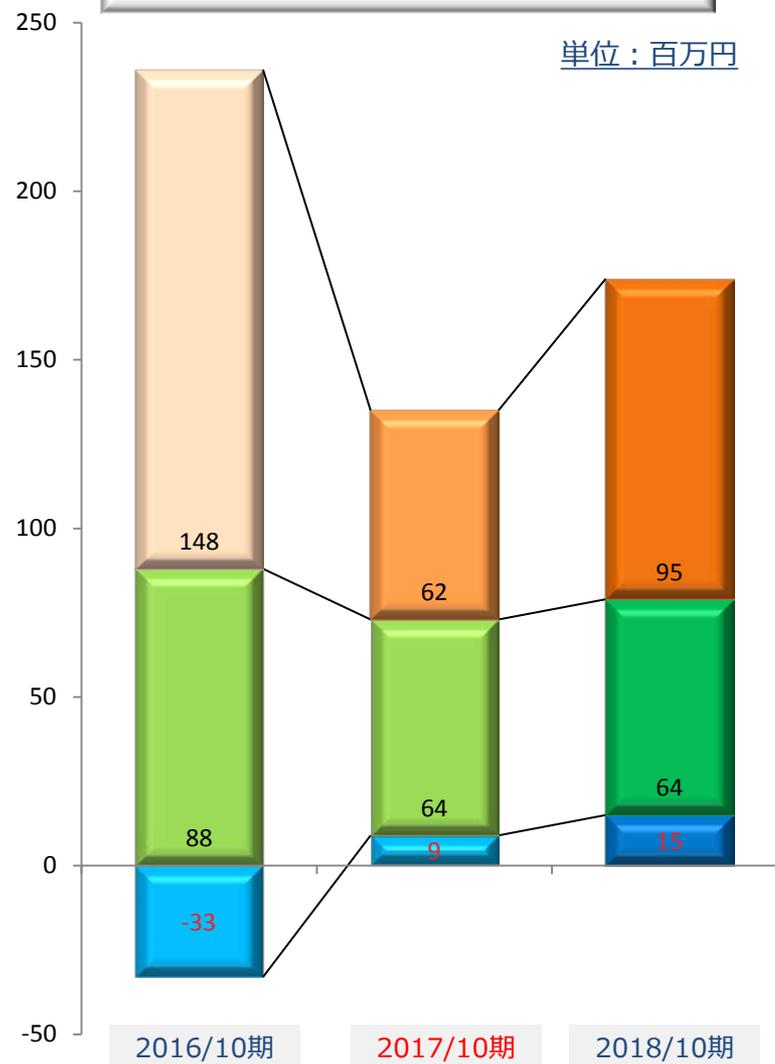
《通期比較》	2016年10期	2017年10期		2018年10期	
		通期	前期比	通期	前期比
売上高	2,866	2,572	89.8% (△293)	2,635	102.4% (+ 63)
営業利益 (営業利益率)	217 (7.6%)	151 (5.9%)	69.4% (△ 66)	166 (6.3%)	109.9% (+ 15)
経常利益 (経常利益率)	239 (8.4%)	145 (5.7%)	60.7% (△ 94)	165 (6.3%)	113.4% (+ 20)
親会社株主に帰属 する当期純利益	143 (5.0%)	102 (4.0%)	71.9% (△ 40)	103 (3.9%)	100.8% (+ 1)

※) 不動産等の家賃収入等は事業報告には除いております。

事業別売上（3期間比較）



事業別営業利益（3期間比較）



■ 美容サロン向けICT事業
 ■ 介護サービス事業
 ■ 中小企業向けビジネスサービス事業

## 事業別 損益計算書・連結業績予想

(単位：百万円または%)

		2016/10	2017年10月期			2018年10月期		
		通期	通期	前期比		通期	前期比	
美容サロン向け ICT事業	売上高	1,665	1,474	88.6%	△190	1,530	103.7%	55
	営業利益	148	62	41.7%	△86	95	152.9%	20
介護 サービス事業	売上高	714	724	101.4%	10	730	101.4%	5
	営業利益	88	64	72.5%	△24	64	72.5%	0
ビジネス サービス事業	売上高	467	352	75.5%	△114	355	100.6%	2
	営業利益	△33	9	—	43	15	154.3%	43

※) 不動産等の家賃収入等は事業報告には除いております。

《連結貸借対照表》

(単位：百万円)

項目	2016/10期	2017/10期	前期差額	前期差要因
流動資産	1,408	1,706	297	営業活動・市場調達による現預金の増加
固定資産	1,613	1,581	△32	ソフトウェアの完成、遡増定期保険解約による減少
資産合計	3,022	3,287	265	
流動負債	454	361	△92	買掛金、未払法人税等、1年以内返済借入金の減少
固定負債	918	973	55	長期借入金（借換）・退職給付引当金の増加
負債合計	1,373	1,335	△37	
純資産計	1,649	1,952	303	自己株式の減少、資本剰余金の増加
負債・純資産合計	3,022	3,287	265	

《キャッシュ・フロー計算書》

項目	2016/10	2017/10	前期差額	前期差要因
営業キャッシュ・フロー	328	223	△104	仕入債務の減少・法人税等支払額の増加
投資キャッシュ・フロー	△87	△95	△7	有形固定資産の増加
財務キャッシュ・フロー	△89	173	262	自己株式の売却
現金及び現金同等物の増減額	150	300	149	
現金及び現金同等物の期首残高	950	1,101	150	
現金及び現金同等物の期末残高	1,101	1,402	300	

➤ 健全な財務状況を維持  
 ➤ 自己資本比率：59.4%  
 (単体：74.5%、無借金)

# 今後の成長戦略

## 中期3ヶ年計画2020のテーマ

# Marketing & Innovation

## お客様第一

### 《お客様第一》

TBCSCATは、全てのステークホルダーに感謝しさらなる期待に応えるべく、50年100年継続して成長するために、企業価値の向上を図ると共に、未来へ飛躍する企業の成長が必要と考えております。

2004年11月に安田社長が就任してから、「少数精鋭」を掲げ構造改革、業務改革、組織改革を推進し、ステークホルダー重視（特に株主への配当による還元）を実施し、不採算事業からの撤退などリストラクチャリングを推進しました。しかし、マーケティングによる「お客様向けの投資」に対応できていないことが課題と考えます。私達は、全ての活動を徹底して「お客様第一」に基点を取り組んでまいります。

### 《Marketing & Innovation》

- ①明確な成長戦略 : 成長分野への投資、アライアンス
- ②成長を支える基盤づくり : 若手・中堅社員の増強、スペシャリストの育成
- ③多様性を活かした組織 : 人事制度を見直し、能力ある若手人材の登用

## 各セグメントの2018年10月期重点実施項目

美容サロン向け

ICT事業

- 戦略的互恵アライアンスの推進
- 販売チャネル戦略
- ストックビジネスによる安定した収益構造の構築

中小企業向け

ビジネスサービス事業

- ICTを活用した中小企業の売上推進サービス
- 社内アライアンスによるシナジーの推進

介護サービス

事業

- 「**やすらぎ**」と「**活力**」を提供する総合介護サービス
- 「介護予防」を目的としたパワーリハビリ等の健常中高年向けサービスビジネス

## 今後の成長戦略について → 企業価値の向上！

### 2020年プラン：成長への基盤づくり

#### 《美容サロン向けICT事業》

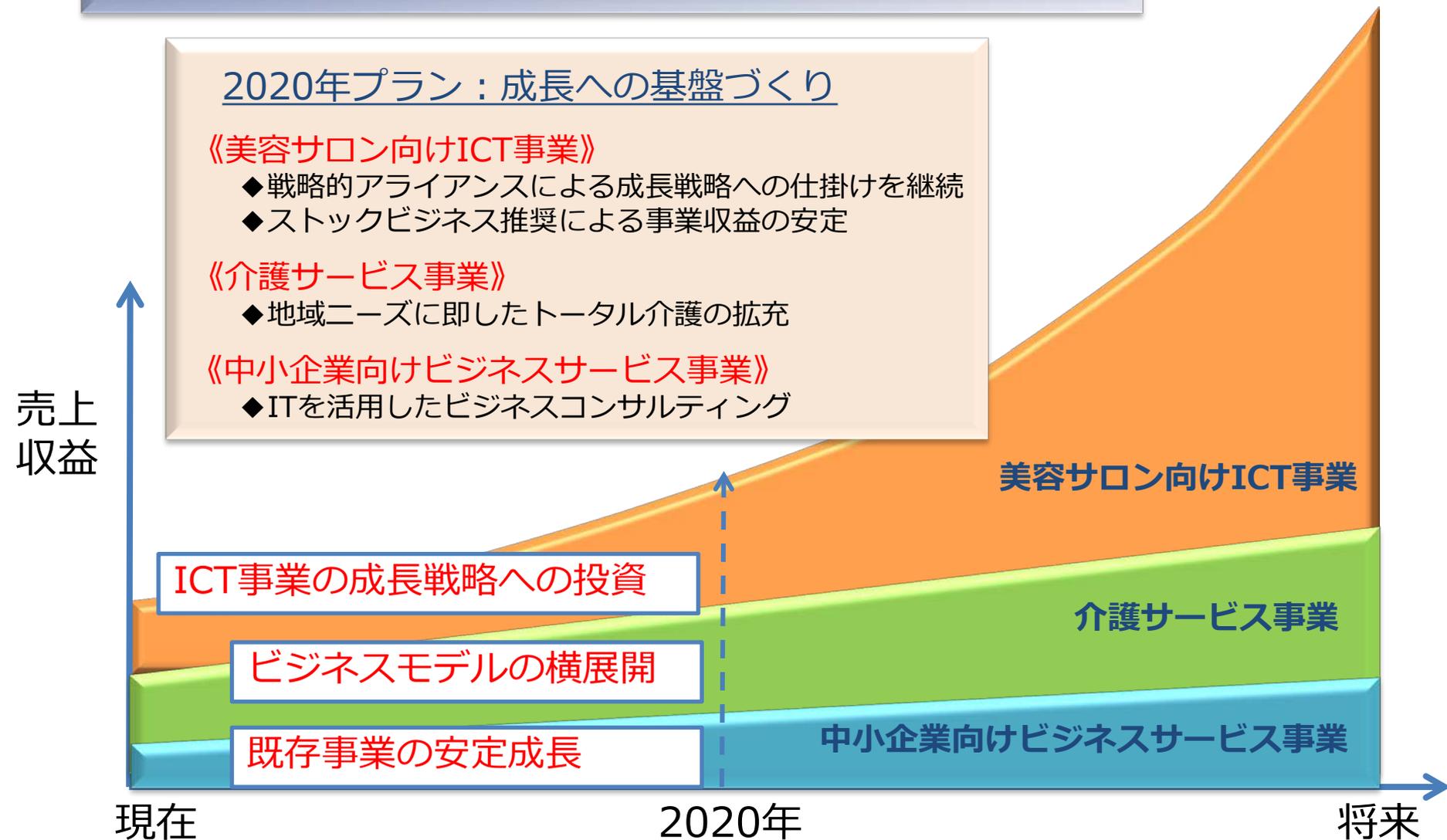
- ◆ 戦略的アライアンスによる成長戦略への仕掛けを継続
- ◆ スtockビジネス推奨による事業収益の安定

#### 《介護サービス事業》

- ◆ 地域ニーズに即したトータル介護の拡充

#### 《中小企業向けビジネスサービス事業》

- ◆ ITを活用したビジネスコンサルティング



## 参考資料 配当について

**2017年10月期は、一株あたり20円の配当案を株主総会議案とする予定です。**

TBCSCATは、「**安定した配当を継続して行う**」ことが、ご支援いただいている株主の皆様への利益還元であると考えております。※) なお配当は、既に10期連続実施しております。

	2015年10月期	2016年10月期	2017年10月期
1株あたり当期純利益	87.15円	112.31円	72.61円
1株あたり純資産	1,191.44円	1,293.75円	1,351.06円
1株あたり配当金	※10.00円	15.00円	※20.00円
配当性向	11.5%	13.4%	27.5%

※) 2016年7月21日付で株式1株につき4株の株式分割を行っております。  
上記は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株あたり指標の推移を記載しております。

※) 当期の1株あたり配当金は、本日現在の配当予想

## 本資料に関する注意

- この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらはリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。



## 《 I Rならびに本資料に関するお問合せ先》

IR責任者： 常務取締役 経営管理本部長 古澤 誠一

IR担当者： 経営企画室 室長 高橋 栄

E-mail : [ir@tbcscat.jp](mailto:ir@tbcscat.jp)

電 話 : 03-5623-9670

# 株式会社 ティビィシー・スキヤット